

新登場

殺菌剤

カナメ

フロアブル[®]

防除の要、

カナメ

現る



農林水産省登録 第24265号



リンゴ黒星病



ナシ赤星病



ネギさび病



タマネギ灰色腐敗病



タマネギ灰色かび病



インゲンマメ菌核病

特長

- 幅広い病害に対し安定した防除効果を示します。**
中でも担子菌(リゾクトニア病害、白絹病、さび病、赤星病等)やリンゴ黒星病、ナシ黒星病等に対し高い効果を示します。
- 浸達性、浸透移行性を有します。**
- 多くの作物で収穫前日まで使用が可能です。***
*詳しくは適用内容をご確認ください。

適用病害の範囲及び使用方法

2021年4月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(L/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	インピルフルキサムを含む農薬の総使用回数
麦類	雪腐小粒菌核病	2000~4000	60~150	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (根雪前は2回以内、 根雪後は2回以内)
	赤さび病	4000~8000		収穫7日前まで			
	うどんこ病						
豆類 (種実、ただし、 らっかせいを除く)	菌核病	4000	100~300	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
	灰色かび病						
ばれいしょ	黒あざ病	400	-	植付前	1回	種いも瞬間浸漬	1回
たまねぎ	灰色かび病	4000	100~300	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
	小菌核病	4000~8000					
ねぎ	灰色腐敗病	4000~8000	100~300	収穫前日まで	4回以内	株元散布	4回以内
	さび病	4000					
	黒斑病	4000~8000					
	白絹病	4000~8000					
豆類 (未成熟、ただし、 さやえんどうを除く)	菌核病	4000	100~300	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
	灰色かび病						
さやえんどう	菌核病	4000~8000	200~700	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	灰色かび病						
かんきつ	さび病	4000~8000	200~700	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	うどんこ病	4000~8000					
りんご	そうか病	4000	200~700	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	黒星病						
	すす点病						
	すす斑病						
	斑点落葉病						
	うどんこ病						
	褐斑病						
黒点病							
モニリア病							
なし	赤星病	4000~8000	200~700	発病初期	3回以内	散布	3回以内
	黒星病	4000					
	赤星病	4000~8000					
もも	輪紋病、黒斑病	4000	200~700	発病初期	3回以内	散布	3回以内
	黒星病、うどんこ病	4000~8000					
ネクタリン	灰星病	4000~8000	200~700	発病初期	3回以内	散布	3回以内
ぶどう	黒とう病	4000	100~300	発病初期	3回以内	散布	3回以内
	さび病						
かき	うどんこ病	4000	100~300	発病初期	3回以内	散布	3回以内
	うどんこ病	4000~8000					
きく	白さび病	4000~8000	100~300	発病初期	3回以内	散布	3回以内

⚠ 使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調整後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないよう

うにしてください。かかった場合3日間は給桑しないでください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。